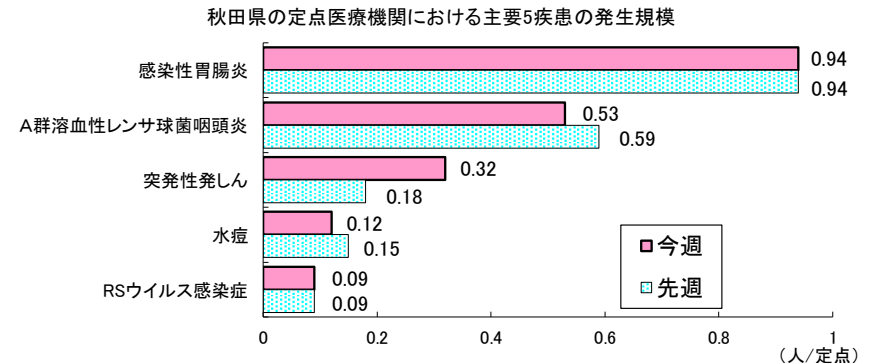




【第43週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で同規模です。保健所別では、大館、秋田中央、湯沢で増加、北秋田で同規模、秋田市、能代、由利本荘、大仙、横手で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で10%減少しています。保健所別では、大仙、横手で増加、秋田市、由利本荘で同規模、大館、北秋田、秋田中央、湯沢で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で1.8倍に増加しています。保健所別では、秋田市、能代、横手で増加、北秋田、由利本荘で減少しています。



発生報告

< 5類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減			
RSウイルス感染症	0.09	0.09								1.00	0.50	↘				0.25		↘		0.25	↗					0.33	↗			
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.06	0.06		0.14		↘	0.25		↘							0.25	↗											0.33	↗	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	0.53	↘	0.14	0.14		3.00	2.00	↘	0.50		↘				1.00	0.75	↘	0.25	0.25			0.50	↗		1.00	↗	0.33	↘	
感染性胃腸炎	0.94	0.94		1.71	1.00	↘	0.50	2.75	↗	0.50	0.50		2.33	1.67	↘	0.75	1.25	↗	1.00		↘	0.25		↘	0.67	0.33	↘		0.67	↗
水痘	0.15	0.12	↘				0.50	0.25	↘				0.33		↘		0.50	↗				0.25		↘			0.33	0.33		
手足口病	0.03		↘	0.14		↘																								
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.18	0.32	↗	0.29	1.00	↗				1.00	0.50	↘		0.33	↗				0.50	0.25	↘					0.33	↗			
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎		0.03	↗																	0.25	↗									
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.29		↘	0.67		↘				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が大館保健所管内から1人、水痘(入院例に限る)が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から8人、由利本荘保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-42週		43週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	12638	61	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
	細菌性赤痢	6		
	腸管出血性大腸菌感染症	2651	20	1
腸チフス	1			
パラチフス				
四類	E型肝炎	355		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	62		
	エキノкокクス症	22		
	黄熱			
	オウム病	8		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	6		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	102		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-42週	43週	計
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	147	1	
	デング熱	5		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	405		
	日本脳炎	2		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	5		
	マラリア	20		
	野兔病			
	ライム病	19		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	1665	19	1
レプトスピラ症	26			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	430	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	157	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1585	27	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	19		
	急性脳炎	273		
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコフ病	144		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	508	4	
	後天性免疫不全症候群	828	1	
	ジアルジア症	29		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	154	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1061	8	1
	水痘(入院例に限る)	221	4	1
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	6031	35	
	播種性クリプトкокクス症	115		
	破傷風	81		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	97		
	百日咳	511	4	
	風しん	10		
	麻疹	4		
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	4		
	* 新型コロナウイルス感染症		1750	9

* 新型コロナウイルス感染症

トピック

<冬季の感染性胃腸炎>

感染性胃腸炎は年間を通じて様々な病原体によって起こりますが、これからの時期は主にウイルスを原因とする患者報告が多くなります(図)。引き続き手洗い等を励行し、感染予防を心がけましょう。

■病原体の特徴

感染性胃腸炎の原因となるウイルスとして、最も患者報告数が多いのはノロウイルスです。感染すると24時間～48時間の潜伏期間の後、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などの症状を呈し、発熱を伴うこともあります。通常、これらの症状は数日で改善しますが、乳幼児や高齢者では、脱水や嘔吐物をのどに詰まらせての窒息などに注意が必要です。

■感染経路

主な感染経路は、病原体が付着した手からの接触感染、加熱不十分な汚染食品を食べることによる経口感染です。感染力の強いノロウイルスでは、嘔吐物などが乾いた時にほこりと一緒にウイルスも舞い上がり、それを吸い込むことで感染する場合があります。

■予防対策

- ・トイレの使用後や調理・食事の前には、石けんをよく泡立ててしっかりと手を洗いましょう。
- ・二枚貝などの食品を調理する際には、中心部まで十分に加熱しましょう。
- ・ノロウイルスには、アルコールによる消毒効果が低いので、患者の便や嘔吐物の消毒処理は、次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤を用いて行いましょう。

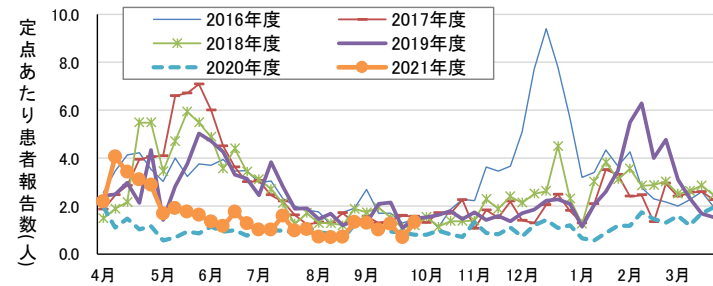


図 秋田県における感染性胃腸炎の定点あたり患者報告数の推移

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎2件、RSウイルス感染症1件の集団発生報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
				園児	職員	計		
感染性胃腸炎	大館市	大館乳児保育園	10/29	63名のうち10名	32名のうち0名	10名	10/22～10/29	嘔吐、下痢、発熱
	大館市	扇田保育園	10/29	83名のうち10名	36名のうち1名	11名	10/26～10/29	嘔吐、下痢、発熱
RSウイルス感染症	横手市	三重保育所	10/29	53名のうち19名	17名のうち0名	19名	10/25～10/29	咳、発熱



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所（発生規模）	保健所（発生規模）
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある（終息していない）ことを示します。
- 2) 警報：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		